

平成28年3月23日

各 位

会社名 前田建設工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 小原 好一  
(コード番号 1824 東証第一部)  
問合せ先 執行役員管理部長 中島 信之  
(TEL 03-5276-5150)

### 『中期経営計画「Maeda JUMP' 16~' 18」』の策定に関するお知らせ

前田建設工業株式会社（本社：東京、社長：小原好一）は、2016年度から2018年度までの3か年を対象とする『中期経営計画「Maeda JUMP' 16~' 18」』を策定いたしましたので、お知らせいたします。

#### 記

#### 1. 中期経営計画の基本理念

当社は、過去2期の中期経営計画において、単に業績の拡大だけではなく、社会に提供する価値を拡大し続ける企業こそが真の持続的成長を成し遂げると考え「建設業で環境経営No.1」を標榜し、すべてのステークホルダーから信頼される企業を目指してまいりました。

当中期経営計画ではこの考えをさらに発展させ、当社および前田グループのすべての事業や活動のベクトルを様々な社会的課題を解決する方向に向け、社会一般や社内外のあらゆるステークホルダーの満足度を高め、それによって企業収益の拡大と継続的成長を実現して企業価値を高める「共有価値の創造」(前田版CSV)を目指します。

この実現に向け、まずコア事業の収益力で業界No.1を目指します。また、脱請負事業の事業推進を加速します。そしてこれらを通じ、これまでのCSR活動を当社が目指すCSVに昇華させるべく、様々な取り組みを始めます。

当社および前田グループが、より積極的・直接的に社会と繋がりを持ちながら事業活動を行い、社会・ステークホルダーとともにWIN-WINの関係となる共通の価値を追究し、もって継続的な収益力の強化を実現することを新しい中期経営計画の基本理念と決めました。

#### 2. 業績目標

当中期経営計画の最終年度である2018年度の業績目標を以下のように決めました。

| 連 結  |         | 個 別  |         |
|------|---------|------|---------|
|      | 2018年度  |      | 2018年度  |
| 売上高  | 4,200億円 | 売上高  | 3,400億円 |
| 営業利益 | 210億円   | 営業利益 | 180億円   |
|      |         | 経常利益 | 185億円   |

### 3. 重点施策

当中期経営計画の業績目標達成に向けて、以下の重点施策を策定いたしました。

#### I. 利益率No. 1

当社のコア事業である請負事業の収益力を強化するため、下記の項目に取り組みます。

##### (1) 生産性改革による収益力のさらなる向上

生産性向上・付加価値向上につながる改善活動を全社で展開し、すべての部署で利益拡大の取り組みを推し進める。

##### (2) グローバル化の継続的な推進

リスク管理・契約管理を強化し、海外事業の収益基盤を構築する。

#### II. 脱請負No. 1

持続的に成長していくための収益基盤を確立するため、下記の項目に取り組みます。

##### (1) 国内コンセッション・再生可能エネルギーの取組拡大

より多くの事業に取り組み、国内のインフラサービスを支える重要なプレイヤーとしての地位を確立する。

##### (2) 海外コンセッション事業への挑戦

新興国を中心にインフラ整備の需要が見込まれる地域のコンセッション事業にチャレンジする。

#### III. CSV経営No. 1

社会的課題の解決と企業収益の拡大を同時に実現するため、下記の項目に取り組みます。

##### (1) 全事業・活動へのCSV導入による持続的成長基盤の構築

CSVの考え方を全社に浸透させ、業務プロセスにCSVを導入することで持続的な成長基盤を構築する。

##### (2) 持続的成長を目指した計画的人材育成の実践

人事制度の再構築や研修プログラムの見直しなどにより、継続的にCSVを実現し収益を上げていくために必要な人材を育成する。

以 上